

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社
 コード番号 4552 URL <http://www.jcrpharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

(氏名) 芦田 信
 (氏名) 萬谷 哲志
 配当支払開始予定日

TEL 0797-32-8591
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,035	16.6	324	—	360	—	115	—
21年3月期第2四半期	5,178	△7.7	△425	—	△310	—	△342	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.57	4.56
21年3月期第2四半期	△12.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第2四半期	24,359	—	15,412	—	62.8	—	635.70	
21年3月期	24,767	—	16,984	—	68.2	—	635.20	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,293百万円 21年3月期 16,879百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.6	760	39.1	760	18.4	340	△37.0	14.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	27,784,654株	21年3月期	27,784,654株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	3,727,232株	21年3月期	1,210,382株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	25,194,122株	21年3月期第2四半期	27,020,078株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力製品である遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト」が前年同期比3億5百万円増の43億11百万円の売上を達成した他、急性膵炎治療薬原体などの尿由来製品、抗がん剤原体なども好調に推移し、医薬品事業の売上高は前年同期に比べ8億80百万円増加し58億71百万円となりました。一方、医療用・研究用機器事業については、前年同期比22百万円減少し1億63百万円の売上高となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同期に比べ8億57百万円増加し60億35百万円となりました。

損益面におきましては、売上の増加に加え販売費及び一般管理費が前年同期に比べ65百万円減少し39億13百万円となったことにより、営業利益は3億24百万円（前年同期は4億25百万円の損失）、経常利益は3億60百万円（前年同期は3億10百万円の損失）となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損2億70百万円の計上により、1億15百万円（前年同期は3億42百万円の損失）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの各売上高の状況は次のとおりであります。

事業の種類別セグメント別売上高

事業の種類別セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
医薬品事業	4,991,261	96.4	5,871,906	97.3	880,645
医療用・研究用機器事業	186,900	3.6	163,970	2.7	△22,929
合計	5,178,162	100.0	6,035,877	100.0	857,715

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は243億59百万円（前連結会計年度末比4億7百万円減）、負債合計は89億47百万円（前連結会計年度末比11億64百万円増）、純資産合計は154億12百万円（前連結会計年度末比15億72百万円減）となりました。

流動資産では、たな卸資産が増加した一方、有価証券、ならびに信託受益権が減少したことなどにより、流動資産合計は前連結会計年度末に比べ13億76百万円減少して128億58百万円となりました。

固定資産では、設備投資による有形固定資産の増加、および関係会社株式の増加などにより、固定資産合計は前連結会計年度末に比べ9億69百万円増加して115億1百万円となりました。

流動負債では、原材料等の仕入債務および設備投資にかかる未払金が増加したことなどにより、流動負債合計は前連結会計年度末に比べ9億63百万円増加して54億57百万円となりました。

固定負債では、長期借入金の増加などにより、固定負債合計は前連結会計年度末に比べ2億円増加して34億89百万円となりました。

純資産の部では、自己株式の取得などにより、純資産合計は前連結会計年度末に比べ15億72百万円減少して154億12百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億70百万円減少して、44億50百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億55百万円（前年同四半期連結累計期間比2億52百万円増）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額6億28百万円が計上された一方で、税金等調整前四半期純利益の計上額98百万円、減価償却費の計上額3億51百万円、未払金の増加額2億74百万円、投資有価証券評価損の計上額2億70百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1百万円（前年同四半期連結累計期間比9億82百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得、投資有価証券の取得などによる支出が、定期預金の払戻による収入、有価証券の売却及び償還などによる収入を上回ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、16億25百万円（前年同四半期連結累計期間比8億57百万円増）となりました。これは主に、自己株式の純増額16億8百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは平成21年10月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,800,188	2,032,785
受取手形及び売掛金	3,053,226	3,000,487
有価証券	3,380,284	3,919,851
商品及び製品	1,935,977	1,352,911
仕掛品	766,653	822,692
原材料及び貯蔵品	1,117,159	1,038,937
その他	804,941	2,067,438
貸倒引当金	△302	△178
流動資産合計	12,858,129	14,234,926
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,495,170	3,492,049
その他(純額)	4,652,075	3,942,989
有形固定資産合計	8,147,245	7,435,038
無形固定資産		
	86,140	59,336
投資その他の資産		
投資有価証券	2,627,082	2,503,379
その他	798,413	714,756
貸倒引当金	△157,300	△180,250
投資その他の資産合計	3,268,195	3,037,885
固定資産合計	11,501,581	10,532,261
資産合計	24,359,710	24,767,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,041	808,920
短期借入金	1,626,400	1,547,200
未払法人税等	49,797	33,574
賞与引当金	251,101	198,783
役員賞与引当金	18,750	37,500
その他	2,556,366	1,867,648
流動負債合計	5,457,456	4,493,627
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	985,200	832,000
退職給付引当金	39,443	46,872
その他	465,011	409,973
固定負債合計	3,489,654	3,288,846
負債合計	8,947,111	7,782,473

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,504,866	7,504,866
資本剰余金	8,410,558	8,411,316
利益剰余金	1,456,302	1,474,082
自己株式	△2,123,390	△515,545
株主資本合計	15,248,337	16,874,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,202	△38,327
繰延ヘッジ損益	△122,379	△18,751
為替換算調整勘定	76,141	62,265
評価・換算差額等合計	44,964	5,186
新株予約権	119,189	100,000
少数株主持分	107	4,805
純資産合計	15,412,598	16,984,713
負債純資産合計	24,359,710	24,767,187

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,178,162	6,035,877
売上原価	1,624,581	1,797,105
売上総利益	3,553,580	4,238,771
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	3,979,473	3,913,963
営業利益又は営業損失(△)	△425,893	324,808
営業外収益		
受取利息	30,503	23,375
受取配当金	9,852	9,592
保険戻金	—	24,542
研究開発負担金収入	100,000	—
その他	20,677	18,104
営業外収益合計	161,034	75,615
営業外費用		
支払利息	32,478	35,195
その他	12,758	4,649
営業外費用合計	45,237	39,844
経常利益又は経常損失(△)	△310,096	360,579
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,914
貸倒引当金戻入額	112	—
特別利益合計	112	13,914
特別損失		
固定資産処分損	961	4,020
投資有価証券評価損	3,515	270,775
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	3,600	—
貸倒引当金繰入額	12,677	—
その他	—	1,300
特別損失合計	20,754	276,095
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△330,738	98,398
法人税、住民税及び事業税	5,534	32,041
法人税等調整額	7,338	△49,327
法人税等合計	12,872	△17,285
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△933	592
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△342,677	115,091

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,685,977	2,749,470
売上原価	912,010	771,951
売上総利益	1,773,967	1,977,518
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	1,923,107	1,998,488
営業損失(△)	△149,140	△20,969
営業外収益		
受取利息	14,417	11,903
受取配当金	250	—
研究開発負担金収入	10,000	—
その他	14,994	13,612
営業外収益合計	39,661	25,515
営業外費用		
支払利息	15,322	19,159
その他	6,675	2,741
営業外費用合計	21,998	21,900
経常損失(△)	△131,476	△17,354
特別利益		
貸倒引当金戻入額	112	—
特別利益合計	112	—
特別損失		
固定資産処分損	282	2,346
投資有価証券評価損	3,515	270,775
貸倒引当金繰入額	12,677	—
その他	—	1,300
特別損失合計	16,474	274,421
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,839	△291,776
法人税、住民税及び事業税	2,839	△101,518
法人税等調整額	3,522	△52,453
法人税等合計	6,362	△153,972
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△144	314
四半期純損失(△)	△154,057	△138,117

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△330,738	98,398
減価償却費	324,077	351,799
投資有価証券評価損益(△は益)	—	270,775
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13,807
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,165	△22,825
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,568	52,318
受取利息及び受取配当金	△40,356	△32,968
支払利息	32,478	35,195
為替差損益(△は益)	1,309	17,631
売上債権の増減額(△は増加)	209,670	△52,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	△247,530	△628,960
仕入債務の増減額(△は減少)	259,954	146,120
未払金の増減額(△は減少)	△115,138	274,531
その他	50,203	△21,807
小計	212,662	473,661
利息及び配当金の受取額	42,727	37,423
利息の支払額	△32,225	△35,639
役員退職慰労金の支払額	△12,080	△6,080
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,470	△13,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,613	455,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	800,000
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の売却及び償還による収入	1,900,000	599,879
信託受益権の取得による支出	△277,754	—
信託受益権の償還による収入	276,175	—
有形固定資産の取得による支出	△189,444	△628,315
投資有価証券の取得による支出	△701,605	△519,339
貸付けによる支出	—	△70,500
長期前払費用の取得による支出	△6,406	△6,064
その他	△19,473	23,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	981,491	△1,165

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△590,000	△20,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△33,600	△47,600
セール・アンド・リースバック取引による収入	174,883	—
リース債務の返済による支出	△182,891	△116,467
自己株式の純増減額(△は増加)	△803	△1,608,603
配当金の支払額	△134,968	△133,038
その他	△764	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△768,143	△1,625,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,652	1,330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	411,308	△1,170,084
現金及び現金同等物の期首残高	4,984,788	5,620,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,396,097	4,450,439

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末に比べ1,607,845千円増加し、2,123,390千円となりました。これは主に、平成21年5月25日開催の取締役会決議に基づき372,000株、141,360千円を、平成21年7月9日開催の取締役会決議に基づき2,170,000株、1,477,770千円をそれぞれ取得したことによります。

6. その他の情報

研究開発品目

1. 医薬品

開発番号 (一般名)	開発 段階	剤形	適応症	備考
J R-401A (遺伝子組換えソマトロピン)	平成21年 7月承認 取得	注射剤	成人成長ホルモン 分泌不全症	グロウジェクト効能拡大 自社開発
J R-401S (遺伝子組換えソマトロピン)	臨床 P III試験	注射剤	子宮内発育遅延性低身長	グロウジェクト効能拡大 自社開発
J R-013 (遺伝子組換えエリスロポエチン)	製造販売 承認申請 中	注射剤	透析施行中の腎性貧血	完全無血清培養技術による生産 キッセイ薬品工業株式会社 と共同開発
J R-041 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	前臨床	注射剤	不妊治療	完全無血清培養技術による生産 あすか製薬株式会社へ導出
J R-032 (遺伝子組換え イゾロネート-2-スルファターゼ)	前臨床	注射剤	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産
J R-051 (遺伝子組換え α-ガラクトシダーゼA)	前臨床	注射剤	ファブリー病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産 共同開発交渉中

(注) P I = 第 I 相試験 P II = 第 II 相試験 P III = 第 III 相試験

(語句の説明)

完全無血清培養： 遺伝子組換え医薬品の培養工程においては、一般的に細胞を増殖させるためにウシ血清が用いられる。完全無血清培養は培養過程でそれらの血清を一切使わないで培養すること。従って、ウシ血清を含まないため精製工程が簡素化され高生産性が期待できる。

ライソゾーム病： ライソゾームとは細胞内にある種々の代謝酵素を有する器官のことで、この中の特定の酵素が欠損して代謝されるべき物質が分解されずに蓄積することにより種々の症状を呈する疾患。欠損している酵素の種類により種々の疾患があり、現在ハンター症候群、ファブリー病を含め約30種類が知られているが、いずれの疾患も患者数は少ない。

2. 細胞治療

開発番号 (利用細胞名)	開発段階	適応症	備考
J R-031 (ヒト間葉系幹細胞)	臨床 P I / II 相試験	骨髄移植に代表される造血幹細胞移植時の副作用である移植片対宿主病(GVHD)の抑制	米国オサイリス社より技術導入 他家由来ヒト間葉系幹細胞の利用 持田製薬株式会社と共同開発

(注) P I = 第 I 相試験 P II = 第 II 相試験 P III = 第 III 相試験

(語句の説明)

ヒト間葉系幹細胞： 主に骨髄中に存在する未分化な細胞。骨、軟骨、脂肪、筋肉など様々な細胞系に分化する能力を持つ細胞。今回の臨床試験は患者自身の間葉系幹細胞を利用するのではなく、健康人から採取したものを培養して薬として多くの患者さんに投与することに特徴がある。

GVHD： 移植されたドナーの免疫担当細胞が、移植を受けた患者さんの組織を異物とみなして攻撃する病態で、体内に入ってきたものを異物とみなして攻撃する通常の免疫反応(拒絶など)と裏返し反応である。重篤な症状をきたす場合も多く、造血幹細胞移植においては最も重篤な合併症の1つである。